

国語

- 授業で身につける力
 - ・意欲的に学習課題に取り組む力
 - ・目的や場面に応じて話したり、人の話を正確に聞き取ったりする力
 - ・自分の考えをわかりやすく表現する力
 - ・文章を正確に理解する力
 - ・漢字や言語事項を正確に覚え活用する力

- 授業時間数
 - ・1年生 4時間×35週
 - ・2年生 4時間×35週
 - ・3年生 3時間×35週

- 授業で使用するもの
 - ・教科書、ファイル、ワーク、漢字練習帳、国語便覧、文法副読本、国語辞書等

- 評価の観点と評価の方法
 - ・知識及び技能…漢字や文法および語句にかかわる取組 古典における知識
定期テスト 書写授業 書写作品 提出物の内容…
 - ・思考力、判断力、表現力等
 - ◎話すこと・聞くこと…授業での発言 話し合い、音読、リスニング、スピーチ
 - ◎書くこと…作文 提出物の内容 ノート 定期テスト
 - ◎読むこと…授業での読解にかかわる部分の取組み 定期テスト
 - ・学びに向かう力、人間性等…教材に対する興味、宿題・提出物等の状況
授業課題に取り組む関心・意欲、

- 授業のポイント
 - ・忘れ物をしないように気をつけ、授業の準備をしっかりとしましょう。
 - ・積極的に発言し、他の人の意見にも耳を傾けましょう。
 - ・自分で考え、自分の言葉で表現しましょう。
 - ・課題や宿題は計画的に行い、期限を守って提出しましょう。
 - ・板書は丁寧に写し、他に発言等でも重要だと思うことはメモしましょう。
 - ・漢字や語句は積極的に辞書で調べましょう。

- 毎日の生活や学習の中で
 - ・本や新聞など活字に親しみましょう。
 - ・その場に応じた正しい言葉遣いをしましょう。

社 会

○授業で身に付ける力

・知識及び技能

国土と歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から情報を効果的にまとめる技能を身に付ける。

・思考力、判断力、表現力等

社会事象を多面的・多角的に考察する力、課題解決に向けて選択・判断する力、説明・議論する力を養う。

・学びに向かう力、人間性等

よりよい社会の実現に向けて、主体的な態度を養い、我が国に対する愛情を深め、公民として自国の平和と繁栄をはかることや、他国の文化を尊重することの大切さを自覚する。

○授業時間数

【1学年】 週3時間 (2～3單元ごとに地理的分野と歴史的分野を交互に行う。)

【2学年】 週3時間 (2～3單元ごとに地理的分野と歴史的分野を交互に行う。)

【3学年】 週4時間 (4～6月は歴史的分野、7月からは公民的分野を行う。)

○授業で使用するもの

・教科書、ノート、ファイル、プリント、資料集、地図帳、ワーク、色鉛筆、のり、はさみ

○評価の観点と評価の方法

・知識・技能・・・・・・・・・・・・・・・・定期テスト、小テスト、提出物の内容等

・思考・判断・表現・・・・・・・・・・・・・・・・定期テスト、発表内容、提出物の内容等

・主体的に学習に取り組む態度・・・・・・・・発表内容、提出物の内容、授業等への取り組み等

○授業のポイント

・授業の冒頭で、基本的用語の発問・小テストによる確認を実施するので復習しておきましょう。

・ワークシートへの記入を通し、考えや理解を深めましょう。

・先生の話をよく聞き、学習課題について、集中してじっくり考えましょう。

・ノートは、板書を写すだけでなく、説明のメモを取る等、工夫して作成しましょう。

○毎日の生活や学習の中で

・日頃からニュースに関心を持ち、わからなかったり、興味を持ったりした事項はすぐに調べましょう。

・復習はテスト前だけでなく、授業の進度に合わせ、日ごろからワークを活用して行う習慣をつけましょう。

数 学

○授業で身につける力

- 知識・技能・・・数量・図形などに関する基礎的な概念、原理、法則などを理解し、それを用いて数学的に問題解決をする力
- 思考・判断・表現・・・知識・技能を活用して数学的な問題を筋道立てて考える力
- 主体的に学習に取り組む態度・・・数学的な活動に意欲を持って取り組み、学びの過程を振り返りながら理解を深めていく力

○授業時間数

第1学年 週4時間 第2学年 週3時間 第3学年 週4時間

○授業で使用するもの

教科書、ノート、ワークブック、ファイル、プリント等
(三角定規・コンパス) など

○評価の観点と評価の方法

- 知識・技能・・・・・・・・定期テスト、小テスト、ノート等
- 思考・判断・表現・・・・・・・・定期テスト、小テスト、ノート等
- 主体的に学習に取り組む態度・・・提出物の内容、学習準備、授業への取り組み方、発表等

○授業のポイント

- 答えを導くまでの過程を重視して、授業に取り組もう。
- 意欲を持って課題に取り組み、進んで発表しよう。
- わからないところは積極的に質問し、解決できるようにしよう。
- プリントやワーク（問題集）にじっくり取り組み、学習の理解を深めよう。
- 提出物は期限を守ってきちんと出そう。

○毎日の学習や生活の中で

- 数学の授業があった日は、家庭学習で必ず復習しよう。
- コンパスや定規、タブレットなど、授業に必要なものは忘れないようにしよう。
- 授業の前に、前回の内容を復習し、理解を深めよう。
- 数学的なパズルなど、日頃から『数学』に対して興味を持つようにしよう。

理 科

○ 授業で身につける力

・知識及び技能

自然の事物・現象を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。

・思考力、判断力、表現力等

自然の事物・現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性や関係性を見いだして表現すること。

・学びに向かう力、人間性等

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

○ 授業時間数

- ・週3時間（1年）、週4時間（2年、3年）

○ 授業で使用するもの

- ・教科書、ノート（ワークシート）、資料プリント、ワークブックやプリント問題、筆記用具（定規はいつも持っています。三角定規2個を推奨）、観察・実験器具

○ 評価の観点と評価の方法

- ・知識・技能・・・小テスト、定期テスト、提出物の内容、実験操作と実験レポート 等
- ・思考・判断・表現・・・小テスト、定期テスト、発表内容、各種レポート 等
- ・主体的に学習に取り組む態度・・・小テスト、定期テスト、学習準備物、各種レポート、提出物の内容 等

○ 授業のポイント

- ・授業に必要なものをきちんと準備しよう。
- ・ノート（ワークシート）を丁寧に記入し、配布資料等を学習内容に合わせて整理しよう。
- ・教員の指示や説明を聞き、安全に観察・実験に取り組もう。
- ・観察・実験等の結果からわかることを考えよう。
- ・間違いをおそれず、積極的に発表しよう。

○ 毎日の学習や生活の中で

- ・学習内容を見直し、整理や用語の確認をしよう。
- ・学習内容に合わせて理科資料、図、写真に注目しよう。
- ・新聞やテレビなどから、興味のあることや疑問点を探してみよう。
- ・学習内容と日ごろの経験や体験を照らし合わせてみよう。
- ・家族や友人と色々な情報や意見の交換を積極的にしよう。

音 楽

○授業で身につけるもの

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につける。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育み、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

○授業時間

- ・第1学年 週に1,5時間
- ・第2学年 週に1時間
- ・第3学年 週に1時間

○授業で使用するもの

音楽の教科書、器楽の教科書、コーラスフェスティバル、ファイル、リコーダー
上記のセットを袋に入れて持参する

○評価の観点と評価の方法

①知識・理解

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表わしている。

【授業の様子や発言 実技テスト 定期テスト 提出物の内容】

②思考・判断・表現

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【授業の様子や発言 実技テスト 定期テスト 提出物の内容】

③主体的に学習に取り組む態度

- ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【授業の様子や発言 実技テスト 定期テスト 提出物の内容 忘れ物チェック】

○授業のポイント

- ・忘れ物をしないようにしましょう。
- ・授業では一人で歌ったり演奏したりすることよりも、仲間と協力して成り立つ内容が多いので、まわりの人と協力して取り組みましょう。
- ・自分を表現することにも、恥ずかしがらず積極的に取り組みましょう。
- ・練習、発表、鑑賞のそれぞれの時間を大切にし、場面にふさわしい態度やマナーを身につけましょう。

○毎日の学習や生活の中で

- ・日々の生活の中で、元気をくれる音楽や気持ちを癒してくれる音楽を取り入れて、楽しみのひとつにしていきましょう。
- ・自分の知らない音楽を知ることによって知識を広げ、音楽活動に興味をもっていきましょう。

美術

○授業で身につける力

- ・環境から美しさを感じ取れる。
- ・イメージを想起できる。
- ・考えをまとめ、計画的に制作できる。
- ・形、色、材料で考えられる。
- ・創意工夫して、よりよく表すことができる。
- ・完成までの表現の全過程を通して自己確認し、より良い表現のための工夫や新たな課題を発見し、自分のよさや学習で得たことなどを発見確認できる。
- ・作品をみつめ、互いのよさがわかる。
- ・自分の作品に愛着をもち、大切にできる。
- ・美術を通して人間の生き方や創造力を味わうことができる。
- ・地域、民族、国などの文化を理解できる。
- ・日本の芸術や文化のあり方を理解し、楽しむことができる。

○授業時間数

- ・第1学年週 1.5時間（前期）、週 1時間（後期）
- ・第2学年週 1時間
- ・第3学年週 1時間

○授業で使用するもの

- ・生徒が用意するもの …… 教科書、絵の具セット、鉛筆、制作に必要な資料や身近な材料など

○評価の観点と評価の方法

- ・知識（共通事項）及び技能 ……………美術の制作カード、イメージを表現する力、技能の習熟状況（適切な道具の使いこなし）、作品の完成度
- ・思考力・判断力・表現力等 …………… 作品制作上のアイデア、自分なりの工夫、課題への理解など
- ・主体的に学習に取り組む態度等 …………… 美術の制作カードの確認、忘れ物、授業態度、課題への取り組み、提出物の内容（提出期限を守ること）など、鑑賞プリント、発言など

○授業のポイント

- ・授業の準備ができる。
- ・作品には自分の考えが表れる。納得できる作品に仕上げる。
- ・自分のよさや個性を活かし、粘り強く制作を進める。
- ・アイデアを整理し、自分の思いを他の人に伝えられる絵や文章にまとめることができる。

○毎日の学習や生活の中で

- ・自分の好きなもの、好きな色が理解できる。
- ・季節で変化する風景や自然が美しいと感じられる。
- ・身の回りにある何気ない物事へも関心が持てる。

保健体育

○授業で身につける力

- ・学習の準備や服装を整え、意欲的に取り組むことができる力
- ・健康安全に気を付け、仲間と楽しく協力し、活動方法を工夫できる力
- ・運動の特性を理解し、技能を高めることや記録を伸ばすことができる力
- ・各種目のルールや保健に関する知識を身につけることができる力

○授業時間数

- ・1～3学年ともに週3時間（通年）

○授業で使用するもの

- ・体育着、ハーフパンツ、ハチマキ、運動靴、学校ジャージ
- ・実技教科書、保健教科書、ファイル、筆記用具
- ・水着、水泳帽、ゴーグル、タオル、ビーチサンダル
- ・手ぬぐい（剣道授業時）

○評価の観点と評価の方法

評価の観点	評価の方法
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">・時間や服装の決まりをきちんと守る・授業に積極的に参加し、運動を楽しむことができる・忘れ物がなく、学習カードの提出・整理を確実にやる
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none">・仲間と協力して活動を工夫し、練習やゲームをすることができる・準備や片づけを進んで行い、安全に留意して活動ができる・お互いに教え合い、励まし合いながら学習ができる・活動についての気づきなどの考えを学習カードにまとめられる
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・運動の特性やルールを知り、練習やゲームを通じて技能を高めた り、記録を伸ばしたりすることができる・各運動の要領やルール、練習方法を理解している・保健学習の内容を理解している・学習カード・調べ学習・定期テストの結果から評価する

○授業のポイント

- ・素早く着替えてチャイムが鳴るまでに集合し、整列しよう。
- ・見学する場合には、生徒手帳に保護者が記入して提出しよう。
- ・服装を整え、元気よくあいさつしよう。
- ・先生の指示をよく聞き、用具の準備や後片付けをみんなで協力して取り組もう。
- ・怪我がないように安全に気を付け、楽しく積極的に活動しよう。
- ・お互いに教え合い、励まし合いながら技能や知識を高めよう。
- ・学習カードなどをしっかり提出し、忘れ物がないように参加しよう。

○毎日の学習や生活の中で

- ・何事も健康が第一、健康な身体を維持するために「早寝・早起き・朝ご飯」が鉄則、バランスのとれた食生活、適度な運動、休養、睡眠、趣味などを心がけてストレスをためないようにしよう。

【技術・家庭】

○授業で身につける力

(技術分野)

- ・ものづくりや生物育成、コンピュータの基礎的な知識
- ・作品の製作工程を経験
- ・生活に関わる情報の技術、情報モラルの習得

(家庭分野)

- ・生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術
- ・家庭の機能についての理解
- ・課題をもって生活しようとする能力と態度

○授業時間数

- ・ 1年生 週 2 時間
- ・ 2年生 週 2 時間 (B 週は技術+1 時間)
- ・ 3年生 週 1 時間

○授業で使用するもの

- ・教科書、家庭ノート、教科ファイル (3年間使用)
※学期・学年の変わりに紛失が見られます。授業で使用する学習用具は3年間使用します。注意しましょう。
- ・学習内容によって裁縫道具、調理実習エプロンなどの準備を担当教諭より連絡します。
- ・技術で使用する工具は、中学校で準備します。

○評価の3観点と評価の方法

- ・知識・技能(生活に関わる基礎的な知識と、それに伴う技能を身に付けているかを確認めます。)
→主に、定期テスト・作品・ワークシートの提出物等の内容や完成度で評価します。
- ・思考・判断・表現(生活の中から課題を見つけ、どのように解決するかを確認めます。)
→主に、作品・ワークシートの提出物等の内容や完成度、定期テストで評価します。
- ・主体的に学習に取り組む態度(課題の解決に意欲的に取り組み、実際に生活で改善しようとする態度を確認めます。)
→主に、授業中の学習の様子、ワークシート等の提出物・作品の完成度で評価します。

○授業のポイント

- ・授業で使用する物を忘れないようにしましょう。
(1年生・2年生は週に1回、3年生は隔週の授業です。「授業で勝負」です。)
- ・説明をよく聞き、学習のポイントを押さえて理解を深めましょう。
- ・実習では課題をよく確かめ、計画的・合理的に作業を進めましょう。
- ・製作には積極的に取り組み、完成まで根気強く取り組みましょう。
- ・しっかりアイデアを出し、自分らしい作品を作り、完成させましょう。
- ・学習課題を生活と結びつけ、いかに利用するか考えながら取り組みましょう。

○毎日の学習や生活の中で

- ・学習したことを家庭に帰って、生活の中で積極的に活かしましょう。
- ・家族の一員として、家庭でいろいろな仕事を手伝いましょう。
- ・学習したことで、ものの大切さを感じ、身の回りのものを大切に使いましょう。

グローバル・スタディ科 (Global Studies)

○「グローバル・スタディ」の目指す資質・能力

知識・技能

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、4技能による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能

思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、4技能を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力

主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化への理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度。身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を身に付けようとする態度。

○授業時間数

・全学年 A週5時間、B週4時間

○授業で使用するもの

教科書、授業用ノート、自主学習ノート、ワークブック、ファイル、プリント類など

【必要に応じて使用】英和英辞典、iPad(さいたま市から配布されているもの)・イヤホンなど

○評価の観点と評価の方法

知識・技能

ペーパーテスト、文章による説明、*パフォーマンステスト等

思考・判断・表現

ペーパーテスト、*パフォーマンステスト等

主体的に学習に取り組む態度

*パフォーマンステスト等

*パフォーマンステスト: 論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現 等

○授業のポイント

- ・授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
- ・対話練習やコミュニケーション活動には、積極的に取り組み、自分の英語力を伸ばしましょう。
- ・授業では知識を習得するとともにテーマについて考え、将来および日常の生活で活用できるように活動に取り組みましょう。

○毎日の学習や生活の中で

- ・スタディサプリやミライシード内にあるドリルパークを効果的に利用し、文法内容の理解に努めましょう。
- ・英語に触れる機会を増やし、興味を持って楽しみましょう。(TV やラジオの*語学番組を視聴したり、洋画や海外ドラマを字幕付きで見たり、洋楽を聞いてみたりするなどし、英語に興味を持ってみよう。)

*NHK FM で放送している基礎英語1、基礎英語2、エンジョイシンプルイングリッシュ、英会話タイムトライアル、英会話入門、ニュースで学ぶ現代英語 など自分の好みやレベルに合わせて聞くことをお勧めします。また、それらの番組を「らじるらじる」で聞き逃し配信もしています。なお、NHK ではテレビ(E テレ)でも語学番組をやっています。英語に限らずいろいろな言語に触れてみるのもよいでしょう。